

項目	取組の効果	取組項目	取組内容	担当部会	取組年度				
					H31(2019)	H32(2020)	H33(2021)	H34(2022)	H35(2023)
病床機能分担	各医療機関が機能分担を行うことにより、競争を避け、それぞれが合理的な病院経営を行うことができる。それぞれ経費削減が可能になり、地域全体で重複投資等が無くなる。	地域の患者の動向分析、病床機能の分担	地域の患者の動向を分析し、病床機能の適正化を検討する体制を構築する。	代表者会	検討	⇒	⇒	⇒	⇒
在宅医療	現在の担い手である開業医の高齢化・後継者不足となるなか、マンパワーの不足を他の医療機関がカバーする体制が取れる。	在宅医療に関する人材の確保	在宅医療の担い手である医師の人材確保を図り、派遣等の方法を検討する。	医師部会	検討	⇒	⇒	⇒	⇒
		在宅療養患者リストの作成	短期入院、短期入所利用者を中心に、在宅療養患者リストの作成	地域連携部会	参加法人内での作成	市内関係機関との情報交換	情報共有とリストの作成	運用	⇒
		他圏域との医療・介護連携体制の整備と強化	他圏域での急性期治療終了者の早期受入と在宅復帰に向けた支援と継続した在宅療養が行える体制づくり	地域連携部会	現状の把握	関係機関との定期意見交換	体制づくりと住民への周知	⇒	⇒
予防医療	健診、がん検診等の受診啓発、案内を各病院が協力して行うことにより受診率の向上が図れる。	健診の拡充	健診体制の受診率向上を目指し、健診体制を整備する。	事務部会	体制の検討	行政等関係機関との調整	⇒	がん検診含む健診体制の整備	⇒
		公開講座、出前講座の実施	看護師長、認定看護師による出前講座を行い、疾病の予防推進を図る。	看護部会	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
職員派遣・人材育成・共同研修	医師が不足する診療科について他病院が医師の派遣を行うことにより、市内全域で不足する医療分野を補い合うことが可能になる。 ・職員研修会の共同開催により、研修効果の向上、受講機会の拡大、経費の削減および業務量の軽減が図れる。	医師派遣の検討	医師が不足する診療科について他病院が医師の派遣を検討する。	医師部会	医師派遣の検討・実施	⇒	⇒	⇒	⇒
		合同研修・情報共有会議の実施	災害時の対応、看護師の役割を考える	看護師部会	課題の抽出 研修会開催 課題の対応	⇒	⇒	⇒	⇒
			新人看護師の育成	看護師部会	課題の抽出 研修会開催 課題の対応	⇒	⇒	⇒	⇒
			看護補助者の育成	看護師部会	課題の抽出 研修会開催 課題の対応	⇒	⇒	⇒	⇒
			情報共有会議の実施（定期的）	看護師部会	情報の共有	⇒	⇒	⇒	⇒
			栄養指導の情報共有	医療技術部会	情報の共有	⇒	⇒	⇒	⇒
			臨床工学技士の情報共有	医療技術部会	情報の共有	⇒	⇒	⇒	⇒
			各医療機関の機能および状況の把握、研修会の実施	リハビリ部会	研修会内容の検討・準備、研修会の開催	⇒	⇒	⇒	⇒

項目	取組の効果	取組項目	取組内容	担当部会	取組年度				
					H31(2019)	H32(2020)	H33(2021)	H34(2022)	H35(2023)
医療機器の共同利用	・各病院の重複投資を抑制でき経費削減が図れる。	放射線機器等の共同利用	CT、MRIの共同利用を実施し、配置の適正化と緊急時にも対応できる体制を整備する	医療技術部会	検討 10月から実施	⇒	⇒	⇒	⇒
		血液検査実施の連携	血液検査を一括で実施し、業務の効率化を図る。	医療技術部会	検討 10月から実施	⇒	⇒	⇒	⇒
		病理解剖室の共同利用	高島市民病院の病理解剖室を共同利用する。	医療技術部会	6月実施	⇒	⇒	⇒	⇒
医薬品・診療材料の共同購入	・各医療機関で個別に行ってきた医薬品の価格交渉を共同で行うことにより、スケールメリットを生かし経費削減が図れる。	医薬品の共同交渉・購入	スケールメリットを生かしたコスト削減、経営の効率化を目指す。	薬局部会	契約形態の標準化、購入医薬品の選別、交渉に向けた準備	共同交渉	⇒	⇒	共同購入の検討
		医薬品の相互利用	期限切迫医薬品を使用できる施設へ譲渡することにより、医薬品の適正利用を図る。	薬局部会	契約形態の標準化、対象医薬品の提示方法の検討	実施 (要確認)	⇒	⇒	⇒
		診療材料の共同交渉・共同購入	価格交渉を共同で行うことによりスケールメリットを生かした経費削減を図る。	事務部会 (用度係会)	現状分析・課題の共有、および共同可能項目の洗出し	共同交渉	⇒	共同購入の検討	共同購入
		診療材料の在庫管理分析	効率的な診療材料の在庫管理方法を共同で検討することにより過剰在庫の削減を図る	事務部会 (用度係会)	現状分析・課題の共有、および共同可能項目の洗出し	在庫管理方法の見直し協議	在庫管理方法の見直し実施	⇒	⇒
		医療機器の共同交渉・共同購入	価格交渉を共同で行うことによりスケールメリットを生かした経費削減を図る	事務部会 (用度係会)	現状分析・課題の共有、および共同可能項目の洗出し	共同交渉	⇒	共同購入の検討	共同購入
		医療機器の保守管理分析	適正な保守管理を共同で分析することにより過剰な保守契約経費の削減を図る	事務部会 (用度係会)	現状分析・課題の共有、および共同可能項目の洗出し	保守管理方法の見直し協議	共同保守管理方法の実施	⇒	⇒
		その他の共同交渉・共同購入	価格交渉を共同で行うことによりスケールメリットを生かし経費削減を図る (事務用消耗品、印刷物、医療ガス、医療廃棄物、臨床検査外注業務 など)	事務部会 (用度係会)	現状分析・課題の共有、および共同可能項目の洗出し	共同交渉	⇒	共同購入の検討	共同購入

項目	取組の効果	取組項目	取組内容	担当部会	取組年度				
					H31(2019)	H32(2020)	H33(2021)	H34(2022)	H35(2023)
委託業務の共同交渉	・医事、給食、清掃、警備、施設管理等の委託業務について共同で価格交渉を行うことに、スケールメリットを生かした経費削減が図れる。	医事委託業務の共同交渉	医事委託業務を共同交渉することにより、人員配置の融通性の向上、経費の削減を図る	事務部会 (医事係会)	現状の分析と課題の抽出 課題解決に向け検討・協議	医事委託業務の共同交渉	⇒	⇒	⇒
		給食関連	業務形態を統一化すること等で、スケールメリットを生かして、資材調達効率化・経費削減を図る。また、人員不足の折から柔軟に職員派遣等融通しあえる仕組みづくりを研究する。	事務部会 (管理係会)	現状分析、課題精査、共同可能項目の洗い出し	共同交渉の準備	共同交渉	⇒	⇒
		清掃・施設管理関連	仕様の統一化を図り、共同して価格交渉を行うことで、経費削減を図る。また、人員不足の折から柔軟に職員派遣等融通しあえる仕組みづくりを研究する。	事務部会 (管理係会)	現状分析、課題精査、共同可能項目の洗い出し	課題調整、共同交渉の準備	共同交渉	⇒	⇒
		寝具（賃借）関連	仕様の統一化を図り、共同して価格交渉を行うことで、経費削減を図る。	事務部会 (管理係会)	現状分析、課題精査、共同可能項目の洗い出し	共同可能項目の洗い出し、課題調整、共同交渉の準備	共同交渉	⇒	⇒
		臨床検査関連	仕様の統一化を図り、共同して価格交渉を行うことで、経費削減を図る。	事務部会 (管理係会)	現状分析、課題精査、共同可能項目の洗い出し	共同可能項目の洗い出し、課題調整、共同交渉の準備	共同交渉	⇒	⇒
		医療廃棄物関連	仕様の統一化を図り、共同して価格交渉を行うことで、経費削減を図る。	事務部会 (管理係会)	現状分析、課題精査、共同可能項目の洗い出し	共同可能項目の洗い出し、課題調整、共同交渉の準備	共同交渉	⇒	⇒
		その他の業務	上記以外の業務についても、共同による価格交渉等スケールメリットを生かして経営の効率化が図れる業務を研究し、取り組みを進める。	事務部会 (管理係会)	現状分析、課題精査、共同可能項目の洗い出し	共同可能項目の洗い出し、課題調整、共同交渉の準備	共同交渉	⇒	⇒
連携業務の効率化	・患者IDの共通化、電子カルテの統一等を見据えたシステム使用、メーカーの統一化が図ることにより、連携業務がより効率的に行うことができる。 ・患者情報の共有が容易になり診療効率がアップする。 ・各病院を利用する患者様の利便性が図れる。	患者IDの共通化（診察券の一本化）	患者IDの共通化（診察券の一本化）することで、患者負担の軽減と利便性の向上、ならびに効率的な連携業務を行う。	事務部会 (医療情報係会)	現状の分析と課題の抽出	課題解決に向け検討・協議	患者IDの共通化の実施	⇒	⇒
		医療情報システムの統一化	電子カルテシステムを統一化し、診療情報を共有することで、診療効率のアップを図る。	事務部会 (医療情報係会)	電子カルテシステムの更新 高島市民病院 今津病院	マキノ病院、本多医院のシステム導入時期を考慮し連携を検討。	⇒	⇒	⇒
		テレビ会議システムの導入	テレビ会議システムを導入し、WEB会議の実施、研修の同時中継等を実施し、業務の効率化と研修受講機会の向上	事務部会 (医療情報係会)	4月検討 デモの実施 10月運用開始	運用	⇒	⇒	⇒
		びわ湖あさがおネットの活用	びわ湖あさがおネットの活用に関する実態調査、利用環境の改善に関する意見交換、利用状況についての報告会、利用環境・法人間での利用状況の改善について確認、次年度に向けた課題検討	リハビリ部会	アンケートの準備、研修会内容の検討・準備、実態調査	アンケートの実施、研修会の開催、実態調査	⇒	⇒	⇒
		地域完結型医療の構築	急性期患者および家人へのアンケート調査、アンケート結果に基づく各機関での問題解決の働きかけ	リハビリ部会	アンケートの準備、実態調査	アンケートの実施、研修会を通じて情報共有、各機関での問題解決の働きかけ	⇒	⇒	⇒
		病床利用のルール化	適切な場所（病床機能）で入院治療が行えるよう、参加法人内で病床利用のルール化	地域連携部会	ルール化検討	内容検討	基本ルール作成と仮運用	運用	⇒
		空床状況の把握	適切かつ効率的な病床利用を進めるために、参加法人にて空床状況報告を行う（情報共有化）	地域連携部会	報告フォーム作成	運用	⇒	⇒	⇒
		災害時支援対象者リストの作成	災害時において、支援対象者把握のためのリスト作成	地域連携部会	参加法人内での作成	市内関係機関との情報交換	情報共有とリストの作成	運用	⇒